

少子化対策において男女の晩婚化、未婚化は深刻な問題で、全国で66%の自治体が緑結び事業に取り組んでいる。婚活を成功させる五つのポイントを紹介する。

まず、未婚者はどういふ人かを知ること。8割以上は「結婚したい」と願い、女性の多くは28歳までに結婚、子どもを1人望んでいるが、実際は20歳代後半の60%が未婚。同世代男性の未婚率も70%以上。8割は親と同居する「バラサイト」。3人に2人は恋人がおらず、30歳を過ぎて「恋人いない歴11年」という人は5人に1人。独身女性の7割が男性からの告白を待つ「待ち受け」状態。男性も6割以上が待つタイプだ。

婚活は、なぜ必要なのか。

基調講演 ジャーナリスト 白河桃子さん



恋愛下手の日本人の結婚は、1960年代半ばまではお見合いが主流で、90年ころまでは社内結婚が多かった。しかし自由恋愛の時代になり、結婚のために意識して活動する必要が生じた。この「結婚活動」を略して「婚活」という言葉が定着し、ブー

理想下げ、自分磨く努力も

「しらかわ・とうこ 少子化し、共著『婚活時代』が1997年出版。『婚活(結婚活動)』を山田 度、09年度の流行語大賞にノミネートされた。

に合う相手がいなければ、結われないが婚活に成功していい婚活をする必要がある。男。性には女性に対し、結婚、出産後も働いてほしいと望む。男。性も働いてほしいと望む。男。性も働いてほしいと望む。男。性も働いてほしいと望む。

ムにまでなった。女性が好条件の男性を争奪するための戦略のように誤解されてしまったが、婚活は、結婚相手を探す目的で自分磨きをし、意識的に行動する、ということ。婚活にも限界がある。どんなに一生懸命になっても条件

ひょうご現代結婚事情フォーラム



現代の婚活事情について語り合うパネリストら神戸市中央、ラッセホール

自分に合う人がいない、出会いがないなどなど、さまざまな理由で男女ともに晩婚化、未婚化が進む日本。少子化に歯止めをかけるためにも地方自治体こそ「婚活」の支援に取り組んでいる。兵庫県も「出会いサポートセンター」の活動が新たな方ッブルを生み出しているが、なかなか成婚率は上がらないという。その実情や課題を話し合う「ひょうご現代結婚事情フォーラム」で、現代若者の結婚支援策を探る。がこのほど、神戸市内で開かれ、「婚活」提唱者である白河桃子さんの講演や、サポート事業の関係者によるパネ

野々山 公的機関の婚活支援への期待は大きい。皆さんの取り組みや、感じていることは、栄 自分を客観視できない、相手を許容できない人が増えた。自分が相手を選んでいくという意識も強い。「この人と結婚したら、どんなメリットを得るか」だけでなく、相手に何を求めているのかを考えてほしい。



野々山久也さん



松尾やよいさん

「雑談力」が成功への鍵 松尾さん
支援事業に公的補助を 出田さん

ティアで活動している。徳島のホテルで年4回ハイティを聞き、2年半で6組が結婚した。ボランティアなので報酬はないが、持ち出しが多くなるので、ゴルフのホールインワン保険のように何かしらサポートしてもらえればありがたいのだが。

高橋 兵庫県が取り組む結婚支援事業として「出会いサポート事業」「このどりの会」「縁結びプロジェクト」がある。「出会いサポート事業」は、婚活ハイティ方式による出会いの場の創出。「このどりの会」は、農山漁村の男性と、都市部の女性との出会いや交流の場を設定。1対1のお見合いの機会を提供する「縁結びプロジェクト」は昨年スタート。希望者は「はほタン会員」として現在3700名が登録。お見合いは2000件、うち500件が結びました。

野々山久也 (のやま・ひさや) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究統括・甲南大学名誉教授。
栄高志 (さかえ・たかし) 全国仲人連合会大阪地区本部長。会社員を経て6年前から本格的に結婚相談業に携わる。「兄貴目線」のアドバイザーが好評。
松尾やよい (まつお・やよい) 「夢こらほ」主宰。恋愛力講座講師・恋愛コンサルタント。独身男女に分かりやすく実践しやすい婚活講座を開催し信頼を集めている。

出田勇一 (いでた・ゆういち) 南あわじ市ハッピー応援団おたすけ隊長。鉄工所を営む傍ら同市社会福祉協議会・婚活ボランティア会員などとして活躍。
高橋克輔 (たかほし・かつすけ) ひょうご出会いサポートセンター長。淡路花博、姫路菓子博などで勤務後、2011年4月より現職。

晩婚・未婚化

パネリストの略歴

子どもは地域の力の源

少子化が進んでいま
す。本県の平成22年の出生
数は4万8541人となり、
この20年間で約5000人、
9%減少しました。その大き
な要因の一つは未婚化・晩
婚化の進行です。国の調査
によれば、未婚者の9割は
結婚への意欲があるものの、
その半数の方が出会いの機
会がないとしています。
このため、兵庫県は市町
や団体、企業などと連携し
ながら、独身男女の出会い
や結婚を支援して



兵庫県知事
井戸敏三

います。県内10地域に設置
した「地域出会いサポート
センター」によるお見合い
紹介や婚活パーティーの開
催などにより、19年度以降
、約280組が成婚しました。
子どもの誕生は、兵庫の
活力アップの源です。独身
の皆さまには積極的にご参
加いただき、すばらしいパ
ートナーに巡り会われるこ
とを願っています。また、
地域や職場など周囲の方々
の温かいご支援をお願いします。



「アヒール宣言」を読み上げる代表者ら神戸市中央区、ラッセホール

「支援充実へさらに努力」

「このとり大使」の婚というもの。『このとり大使』として力を発揮できるよう、わたしたち自身も、もっとと磨きをかけねばなりません。おせっかいなおじさん、おばさんとして、地域で頑張っていくまじょうと力を込めた。

神戸地区代表
木村陽子さん

「このとり大使」の各地域代表が壇上にそろい、一組でも多くのお出合いをサポートしようと、神戸地区の木村陽子さん代表が「アヒール宣言」を行った。
木村さんは「長年、夫婦で培ってきたのが、結

県内10カ所にサポートセンター

兵庫県在住、在勤の独身男女の出会いと結婚を支援するため、2006年にスタート。「ひょうご出会いサポートセンター」(県青少年本部と、県内10カ所の「地域出会いサポートセンター」が拠点となる。毎週末、県内各地でパーティ形式の出会いイベントを開催しており、現在5万4000人が登録。イベント数は、本年度は450回ほどになる予定。
そのほか、農山漁村の男性と、都市部などの女性の出会いや交流の場をつくり、縁結びにつなげる「このとり」の会があり、知事の委嘱を受けた「このとり大使」が約1700人活躍。1対1の出会いを決定する「縁結びプロジェクト」は登録した希望者対面お見合いを実施している。問い合わせは、ひょうご出会いサポートセンター ☎078-891-7415

ひょうご現代結婚事情フォーラム



栄喬志さん

パネリスト

全国仲人連合会大阪地区本部長
恋愛力講座講師・恋愛コンサルタント
南あわじ市ハッピー応援団おたすけ隊長
ひょうごご出会いサポートセンター長

栄喬志さん
松尾やよいさん
出田勇亀一さん
高橋克輔さん

コーディネーター

甲南大学名誉教授 野々山久也

野々山 婚活中の方へのメッセージ、婚活サポートに必要なのは、
栄 男性のコミュニケーション能力不足が、女性の男性に求められる基準が厳しくなってきたと思う。この点は女性からの歩み寄りもお願いしたい。出会ったばかりの男女の会話がいきなり盛り上がることは少ない。出会うたドキドキ、ドキドキの延長線上に結婚があると多くの男女が思っているが、一目惚れなんてそうそうあるわけでもない。婚活では、まず信頼できる相手かどうかで判断を、それが恋の始まりになる。

松尾 女性は「面白い人が好きだ」と言うが、婚活支援で出会う男性の多くは、残念ながら、真面目、正直、親思い、あ

まり面白くない、というパターン。プロフィールの好きな食べ物欄に「おからのココロ」と書いたり、趣味は「フィギュア」「ゲーム」とそのま

栄さん 女性から歩み寄って 高橋さん 少子化に危機感を

出田 先日、都道府県の幸せ度が報道されていた。トップの県は、未婚率が低く、出生率が高いということだったが、市町単位でみれば、南あわじ市の幸せ度は高いと思う。第2子から保育料は無料で、母子・父子家庭への助成にも力を入れている。子育てしやすい。若い夫婦への支援は手厚い。田舎は、幸せ度を上

出田 先日、都道府県の幸せ度が報道されていた。トップの県は、未婚率が低く、出生率が高いということだったが、市町単位でみれば、南あわじ市の幸せ度は高いと思う。第2子から保育料は無料で、母子・父子家庭への助成にも力を入れている。子育てしやすい。若い夫婦への支援は手厚い。田舎は、幸せ度を上



出田勇亀一さん

白河さん 若い世代も「仲人」して

野々山 円満な結婚生活を送り、共白髪となった幸せ夫婦の条件は、3組の仲人をする。これと違う。これをキヤップする際、婚活中というところ、フレンドに活動したらどうか。基調講演講師の白河さんの意見はどう

白河 文字通り「幸せげやすい。これをうまくアピールして、結婚につながられるのではないかな。婚活アームのおかげで、婚活への敷居が低くなった。シングルである人は実は結構大変だといふことも分かってきた。仲人と言えは「年配の方を思い浮かべるが、若い世代の方にも、ぜひ「おせっかい」をお願いしたい。同世代で独身の友人を紹介することほできるだろう。



高橋克輔さん



ひょうごご出会いサポートセンターによる「お見合い相談」。センターでは個別見合いのほか、セミナー、パーティーなども企画

歯止めへ一役